

料金別納郵便



みかわち焼 登り窯 14人展

染付の酒器とうつわ

令和6年3月5日(火)～10日(日) 会期中無休

開廊時間：午前11時～午後7時（最終日10日は午後5時まで）

[出品作家]

今村隆光 [光雲窯]、金氏健多 [嘉泉窯]、ロ石博之 [平戸嘉祥窯]、
里見寿隆 [嘉久正窯]、中里太陽 [平戸洗洋田右工門窯]、中里月度務 [平戸松山窯]、
中里彰志 [平戸松山窯]、中里峰幸 [玉峰窯]、速見義徳 [義窯]、
福本 幸 [玉泉窯]、藤本岳英 & 藤本江里子 [五光窯]、今村房の輔、中里しんや

作家在廊日：5日～6日／中里峰幸、6日～8日／中里彰志、9日～10日／里見寿隆

みかわち焼

長崎県 佐世保市の三川内地区でつくられている磁器のやきもの。
江戸時代初期に始まり、当時は「平戸焼」と呼ばれていた。染付による唐子絵をはじめ、細工、透かし彫りといった精緻な技を、400年間守り続けている。【焼成中の写真（中面）：大川裕弘】

みかわち焼の白い肌をより白くし、呉須の藍をより鮮やかに引き立てるには、煤の混じらない澄んだ炎のガス窯で焼成することが、この産地70年間の「常識」でした。

一方、有志のメンバーが集まり、1940年代まで使われていた登窯を山の中にひっそり復元し、1年に12回手探りしつつ共同で窯焚きが行われてきました。このほどみかわち焼としては初の、登窯で焼成したやきものだけの展覧会が開かれます。薪窯が当たり前ではない産地があえて手がける挑戦を、応援しています。

坂井基樹（公益社団法人 日本陶磁協会 事務局長）

柿付ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安とビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com





口石博之 [平戸嘉祥窯]



藤本岳英 & 藤本江里子 [五光窯]



中里峰幸 [玉峰窯]



中里月度務 中里彰志 [平戸松山窯]



里見寿隆 [嘉久正窯]



中里太陽 [平戸光祥団右工門窯]



速見義徳 [義窯]



今村隆光 [光雲窯]



金氏健多 [嘉泉窯]